

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		民生委員推薦会費 [民生委員推薦会事業]									
予算科目	款 3	民生費	項 1	社会福祉費	目 1	社会福祉総務費	事業番号	11			
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	福祉推進			課	庶務	係	課長名	山田 茂人			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	2 - 6			
【施策名】 地域福祉の推進							総合計画書(ページ)	65			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	民生委員推薦会				民生委員推薦会委員の出席率 定数14名						
	→										
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	民生委員推薦会を開き、民生委員・児童委員候補者を選出し、東京都へ推薦する。				民生(児童)委員実人数/民生(児童)委員定数						
	→				令和元年12月1日一斉改選 56/61(定数) 令和3年4月1日現在 55/61(定数)						
3 経費	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	民生委員は、民生委員法により、市の民生委員推薦会が東京都に推薦し、都の地方社会福祉審議会の意見を聴き、都知事の推薦により、厚生労働大臣が委嘱することとなっている。 地域で活動をしている市民から、適正な候補者を推薦するために、民生委員推薦会を開催し、都へ候補者を推薦した。				民生委員推薦会開催回数 3回						
	→										
		単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
			平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標	令和5年度目標			
対象指標	①の数値	%	83	0	95						
成果指標	②の数値	%	92	90.1	90.1						
目標	②の目標値	%	90	90	90						
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。) 定数どおり、民生委員を配置する。											
活動指標	③の数値	回	3	0	3						
3 経費	事業費(実績)		円	260,400	0	279,000		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	14,400	0	32,400					
		特定財源(国・都・他)	円	246,000	0	246,600					
		(うち受益者負担)	円	0		0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円	831,000	838,000	825,000					
職員人件費(再任用)	円										
事業費+人件費		円	1,091,400	838,000	1,104,000						
4 環境変化等	(1) 開始年度	昭和23年度									
	(2) 環境の変化	社会が変化したことにより、民生委員の役割も変化し、また、地域で昼間活動できる方が減少していることから、民生委員推薦会も候補者を選出することが難しくなっている。									

事業名称	民生委員推薦会費 [民生委員推薦会事業]			
担当部署・課長名	福祉推進	課	庶務	係 課長名 山田 茂人

5 市民 等 の 意 見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 実質的な候補者推薦は現任民生委員からの推薦が多い。民生委員推薦会は推薦のための追認機関となっており、民生委員推薦会から候補者推薦は少なかった。			
	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
6 市民 協 働	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：		
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()		
(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
7 課 題	(1)令和3年度に課題とした内容(「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記) 民生委員のなり手が少なくなる中、次の一斉改選(R4)に向けた、候補者選定の方法について検討していく必要がある。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 特になし			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) 特になし			
8 施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)				
施策名： 地域福祉の推進 <input type="checkbox"/> なっている <input checked="" type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名()				
9 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など) <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 候補者の選出方法について、新しい方法を考える必要がある。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 他の自治体での取組みや各種団体からの選出方法等の検討を図る。			